

FIM ロードレースコース規格
(SRRC)

2011年度

目次

029.1	総論	1
029.2	サーキットレイアウト	1
029.3	路側帯及びランオフエリア	4
029.4	排水構造	4
029.5	追加の防護設備	5
029.6	シグナルとマーキング	6
029.7	サーキット設備及び付帯設備	9
029.7.1	ライダーパドック	9
029.7.2	車検場	11
029.7.3	ピットレーン入り口	11
029.7.4	ピット	12
029.7.5	シグナリングプラットフォーム	13
029.7.6	ピットレーン出口	13
029.7.7	スターティンググリッド	14
029.7.8	クローズトパークエリア	19
029.7.9	レースコントロールポスト	19
029.7.10	場内テレビ	19
029.7.11	コミュニケーションサービス	20
029.7.12	タイムキーピングポスト及びリザルトオフィス	20
029.7.13	オフィシャルルーム	20
029.7.14	メディアセンター	21
029.7.15	テレビコメンテーター用設備	25
029.7.16	広告	25
029.7.17	一般用設備	25
029.7.18	サーキットの維持管理	26
029.7.19	表彰台	27
029.8	マーシャルポスト	27
029.9	緊急設備	29
029.10	許可される車両の数	31
029.11	査察と公認手順	32
別添 A	公認された追加の防護設備マニファクチャラー、ディストリビューター	36
	公認ペイントマニファクチャラー、ディストリビューター	38

029.1 総論

029.1.1 目的及び目標

FIM ロードレースサーキット規格 (SRRC) は FIM がサーキットを公にする際の手順に関して規定する。

概念及び使用に関する実際的な基準は、新しいサーキットのデザイナーが FIM へのプロジェクトプレゼンテーションを行うこと、改修を計画するサーキット運営者や大会主催者がサーキットを準備したり選択したりするための支援することが含まれている。

サーキットライセンスのグレードによって以下に記される事項の例外が認められる。(事項 029.11.11)

029.1.2 本規則の施行及び改訂

現行の FIM 規格は **2011** 年 1 月 1 日を以って施行される。

以前に発行された規格全てについて破棄される。

過去における経験、技術革新または安全上の理由から、必要に応じてその都度 FIM は、これら規格に対する改訂を行うことができる。

029.2 サーキットレイアウト

029.2.1 原則

~~サーキットの形状は平面図上並びに高低図面上においても平均スピードが 200Km を超えるものであってはならない。~~

本規則において直線部分またはコーナー部分の基準とするのはコースレイアウト自体でなく、理想的走行ラインであり、サーキット平均スピードを割り出したり、レイアウトの設計を行う場合にも理想的走行ラインを基本とする。

029.2.2 サーキットの全長

サーキットの全長は **3.5Km** 以上 **10Km** 以下でなければならない。

029.2.3 ストレート

スターティングゾーンは最低 **250m** の長さのストレートに設けられていなければならない。

スターティングラインは、第 1 コーナーから最低 **200m** の距離に設けられなければならない。

029.2.4 カーブ

ストレートと一つあるいは二つの異なる半径のカーブの接続部分は、そのカーブへの進入速度または退出速度を増したいと望む場合以外は、必ずしもトランジションコーナー（移行コーナー）でなくとも良い。

029.2.5 バンク

バンクはトラックの横断面の傾斜あるいはスロープであり、トラックのセンターラインに対する垂線で計測される。

029.2.6 ストレートのバンク

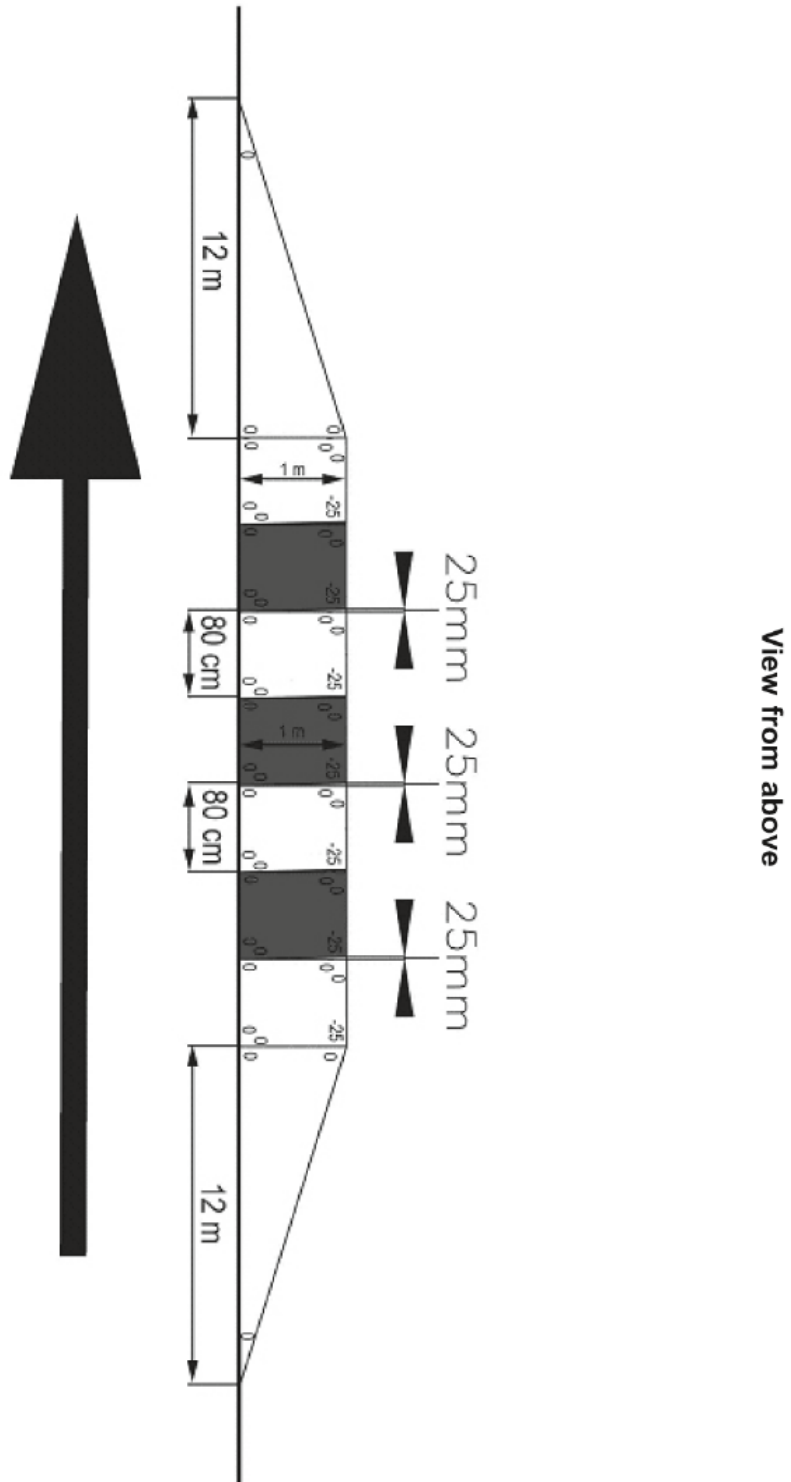
ストレートにおいて、路面の排水をするためにバンクが付けられていなければならない。このバンクは片側のみであっても上反るものであっても良い。

029.2.7 バンクにおける移行

トラック上のバンクの移行に関しては特に注意して設計されなければならない。

- 横断面方向に十分な排水を確保する。
- 力学的にもバンクによる補正が不可能な急激な横方向の加速変化を防ぐ。
- 適切な視線を確保する。

029.2.8 コーナー内側及び外側におけるFIMカーブ



029.3 路側帯及びランオフエリア

029.3.1 定義及び目的

路側帯（カーブ外側、ランオフエリア）とはトラックの横断側面外側を表す。

路側帯は構造的観点からも、コース構造の境界及び路肩の役目を果たすため必ず必要とされる。

路側帯は視認性を確保し、コース幅全体を使用できる可能性を向上し、安全性の向上に貢献する。もし十分な広さがある場合、車両を一時停止する区域として有効である。

029.3.2 特性

路側帯及びランオフエリアは、表面は平らでなければならないが、コースより平らなものであってはならない。如何なる破片物質やグラベルに使用されている粒より直径が大きな石があってはならない。路側帯の表面はコース表面あるいは縁石上部を水平でなければならない。

029.3.3 グラベルベッド

グラベルベッドの表面は波状とはせずに平らにならされていなければならない、ランオフエリアと水平でなければならない。

グラベルベッドの有効性を維持するため、FIM イベント前には必ず混ぜ合わせられ、破片物やグラベルの直径以上の石は取り除かれなければならない。

029.4 排水構造

トラック、路側帯、ランオフエリア及びグラベルベッド表面の水が取り除かれるように適切な排水対策が施されていないなければならない。

対処しなければならない水の量を想定する場合（降雨量や降雨時間、流量の係数に応じて）、当該施設の地元の天候状況を重視しなければならない。

コースと第1防御ラインとの間に排水溝を設けなければならない場合、路側帯並びにランオフエリアとの表面に凹凸が出来ないようにしなければならない。そしてそれは鋭利でない金属製ワイヤーメッシュや吸水性のある囲いが使用されなければならない、路側帯やランオフエリアの表面を干渉してはならない。

029.5 追加の防護設備

029.5.1 総論

追加の防護設備は、硬い物体から保護するために常設あるいは事前に設置される。
FIM ロードレース委員会が承認した防護装置が使用されなければならない。

以下の防護装置が公認されている。

タイプ A

- ・ エアフェンスタイプ I S
- ・ エアフェンス II S、エアフェンスバイク及びエアフェンスバイク E V O
- ・ アルピナエアモジュール、アルピナエアモジュール A A、アルピナスーパーディフェンダー及びアルピナスーパーディフェンダー 2
- ・ ブリヂストンモジュール 1000 及びブリヂストンモジュール 1300
- ・ PKS モジュール 1
- ・ レクティセルセーフガードバリア 1 及びレクティセルセーフガード RR
- ・ S P Mエアパッド及びS P Mエネジーアブソーバータイプ A
- ・ トラックケアハイライト及びトラックケア・インフラッタブルバリア

タイプ B

- ・ エアフェンスタイプ I 及びエアフェンスバイク B
- ・ アルピナディフェンダーバリア
- ・ レクティセルセーフガードバリア 2

タイプ C

- ・ 耐火バッグ（灰色が推奨される）に覆われたストローベール
- ・ フィリングイタリアーノプロテクションシステム（ONDA 27/33-20/26）
- ・ アルピナシンセティックベール
- ・ 承認されたウレタンパッド
- ・ PKS Modele 5
- ・ レクティセルセーフガードバリア 3 及びセーフガードバリア 4
- ・ トラックケアバリア

耐火バッグのマニファクチャラーやディストリビューターに関する資料は FIM
ロードレース委員会事務局より入手することができる。

タイプ D

- ・ コンベアベルトにて固定された 4 輪用タイヤによるバリア

タイプ E

- ・ 4 輪用タイヤによるバリア

タイプF

・TEC PROバリア

モトGP 広告パッド

如何なる公認保護装置前へのモトGP 広告パッドの設置が認められる。

硬い物体は、全ての追加の防護設備によって覆われていなければならない。(空間部分を設けてはならない)

タイプC 設備の偶発性については、各 FIM イベント時に利用できるよう FIM 公認レポートの中に要望される場合がある。

029.5.2 新規追加防護設備のための公認手順

1. 義務についての説明書は、FIM ロードレース委員会事務局より入手することができる。
2. 申請者によって研究施設での性能テストが実施されなければならない。このテストに立ち会う検査官を FIM ロードレース委員会事務局が任命する。テストが行われる最低4ヶ月前までに FIM ロードレース委員会事務局に要請しなければならない。申請者は、このテストを行う研究機関が、このテストを行うのに適切であるという証明を提出しなければならない。
3. 公認を受けるために、申請者は春季会議か総会、またはバイアニュアルセッション時のロードレース委員会に以下を提出しなければならない。
 - 公認を受けようとするモジュール単体
 - 検査機関で行ったテスト時のビデオ
 - テスト報告書数冊
 - 認証された検査機関で行われた耐火テスト時のビデオ

029.6 シグナルとマーキング

029.6.1 距離表示

カーブ手前のアプローチには、距離を示すサインが表示されていなければならない。

一部夜間を含む耐久レースの場合、反射材質でできた表示を設置しなければならない。

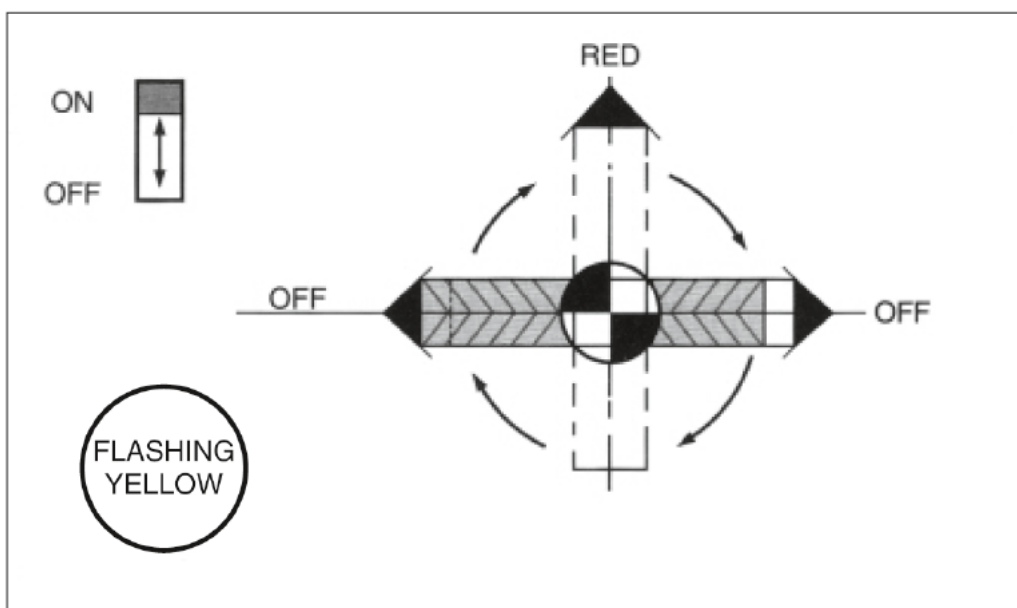
カーブの両側のコースエッジまたはカーブ、そして1次プロテクション(ガードレールまたは壁)、または追加のプロテクティブデバイス(幅1m)に白い線(ライン) ~~ストライプ~~ (幅1m、長さは最低5m)が施されなければならない。

029.6.2 スタートライト

2つのライトが設置されなければならない; レッド、イエロー
下記の組み合わせが可能でなければならない。

- レッドライトのみ
- イエロー点滅灯のみ
- レッドライト及びイエロー点滅灯

スタートライトレバーコントロール



029.6.3 サーキット周囲のレッドライト

これらのライトは、プラクティスまたはレースの中断を示す合図として競技監督
によってのみ点灯される。マーシャルのレッドフラッグにより補足される。

ライトの視認が良い照度がなければならない。太陽光の反射を防ぐために上部に
カバーが取り付けられることが望ましい。

029.6.4 ピットレーン出口ライト

ピット出口ライトは、レッド、ブルー点滅灯、グリーンライトとする。出口はこ
れらライトによって管理され、オフィシャルによって継続的にコントロールされ
る。

029.6.5 サーキット周囲のイエロー点滅灯

夜間にレースが行われるサーキットにおいては、各マーシャルポストにライトシ
グナルが設置されていないなければならない。

これらシグナルはポストによって管理され、場合によっては次のポストによっても管理される。

この設備は点滅するライト、すなわち交互に点滅する二つのライトとなっても良い。

029.6.6 マーキング

トラックの両側には、幅 8cm から 10cm の連続した白線が引かれ、そしてそれは路側帯またはカーブの最も端の部分にペイントされる。但し、ピットレーン入り口及び出口という白線が障害となる部分を除く。

ランオフエリアを除き、如何なる広告及び装飾もトラック路面に行われてはならない。

白線及びトラックに沿ったカーブ、スターティンググリッド他トラックにマークを施すために使用されるペイントは FIM ロードレース委員会の承認が必要とされる。

大会の 1 ヶ月前までに、サーキットまたはプロモーターは FIM ロードレース委員会事務局宛てに承認ペイントの発注をおこなわなければならない。この発注には色並びに各色毎の量も含まれることとする。

承認ペイントは以下のとおり

LIMBURGER LACKFABRIK

SAR SIGNATURE

VERNICE AUTODROMO

LIMBOROUTE Circuitline WBP

AGRIPP' TROPHY

85500502

(別添 A 参照)

マニュファクチャラーによって定義されたペイントの承認方法は以下を厳守しなければならない。

承認申請手順は、FIM ロードレース委員会事務局から入手する。

ランオフエリアに続く 1 列目の防護柵開口部にはグリーンラインが最低 2m に亘り垂直に引かれ白い斜め線または蛍光オレンジ色のマークがなされなければならない。それは防護柵の第 1 列または防護設備自体にペイントされるものとする。

029.7 サーキット設備及び付帯設備

029.7.1 ライダーパドック

記載されている詳細及び条件は、各選手権プロモーターの要望により異なる。

パドックの表面は重量車両がそこで移動したりすることに堪え得るものでなければならない。

如何なる通路、未公認ゾーン、パーキングスペースを示す境界線によってパドック内の車両が合理的に駐車できるものでなければならない。

レーストラックの内側にパドックが位置する場合、自家用車や救急車両が端またはトンネル（高さ 4.5m）を通る事ができるようにしなくてはならない。

最低、下記の設備が設けられていなければならない。

- トイレ 30基（内女性用10基）
- 温水シャワー 12基（内女性用3基）
- 電話室 直接コレクトコールあるいは使用時間によって料金が払える電話が6台設置してある電話室
- ライダーインフォメーション
- 応急処理ポスト
- メディカルサービスポスト
- 消防ポスト
- バー、レストラン設備

使用可能エリア

— トラクター駐車スペース	700 m ²
— チーム作業エリア最小限ボックススペース)	5000 m ²
— メジャーサービス会社	2000 m ²
— 第2サービス会社	1000 m ²
— ホスピタリティー	5500 m ²
— 居住エリア	4500 m ²
— 通路	5000 m ²
— 総面積	23700 m ²

パドックをm²で分割することは不可能な作業である為上記はガイドラインとする。

使用するパドックスペースが大きければ大きいほどプロフェッショナルとしての演出が可能である。

電力コンセント

各エリアの総電力コンセント数は以下のとおりとする。

	220v (16アンペア)	380v (32アンペア)
チーム作業エリア	55	15
メジャーサービス会社	15	5
第2サービス会社	15	5
ホスピタリティー	40	20
居住エリア	70	20
総合	195	65

これら数値はやはりガイドラインであり、コンセント数が多ければ多いほど使用しやすい。可能な限り、如何なる車両も電力源から50m以上離れることのないことが望ましい。延長ケーブルを使用すればするほど電力パワーのロスとなり、またケーブルのダメージや事故に繋がる。

必要とされる総KVA量を確認することは不可能だが、最低限5KVAをパドックにある車両に平均的に供給できることとし、最大限としては1300KVAを可能とすること。(この数値はピットボックスでの使用電力は含まれない)

また、メディカルセンターに隣接する場所には32アンペアまたは64アンペア380Vの供給がなされていなければならない。

水道

チーム作業エリア	50
メジャーサービス会社	10
第2サービス会社	10
ホスピタリティー	40
居住エリア	70
総合	180

水圧は十分なものでなければならない。(多くのサーキットでは水圧が不足している)

水道はメディカルセンター付近にも設置されていなければならない。

排水

排水は、外気に触れることなく、柔軟なパイプを通して処理設備に排水されなければならない。

使用済みオイル／燃料用容器

総容量 8 × 200 リットルの容器が、各チームが使用しやすいように作業エリアに均等に配置されなければならない。

ゴミ箱

パドクエリアに平均的に設置されていなければならない。ホスピタリティーエリアには特に注意が払われなければならない。

メンテナンス

使用済みオイル／燃料用容器、ゴミ箱は最低 1 日に 1 回空にするか好感されなければならない。トイレ及びシャワーは清潔に保つサービスがイベント開催中継続されなければならない。

主なサービス技術者は、大会期間中は会場に待機し、対応できるようにしていなければならない。

029.7.2 車検場

ライダー用パドック内または近くに、レース役員が管理上のチェック及び車検の両方を行うためのゾーンが用意されなくてはならない。

このゾーンは下記の仕様とする。

- ・ フェンスで囲われ、上部が覆われていなければならない。
- ・ 表面は平らでなければならない。
- ・ そのエリアは最低 100 m²の面積がなければならない。
- ・ 重量計測装置が設備されていなければならない。
- ・ 出入りが厳密に管理されていなければならない。

このゾーンの端には、公式通知を知らせるボードが設置されていなければならない。ボードの表面積は最低 3 m²とし、全ての公式通知は悪天候の影響を受けないようされていなければならない。

029.7.3 ピットレーン入り口

60km というスピード規制ボードが両サイドに設置され、ピットレーンエントリーを示す白線がコース上にペイントされていなければならない。サーキット査察時にその位置については決定される。そのボードの手前 50m のところに 2 本目の白線がピットレーンエントリーを横切るように引かれていなければならない。

029.7.4 ピット

記載されている詳細及び条件は、各選手権プロモーターの要望により異なる。

最低総面積：1400 m²

最低ピットサイズ：縦6 m×横5 m

安全

隣接するボックスからの侵入を防ぐための壁または柵がピット前及び後ろに設けられていなければならない。これらのパーテーションはチームが1つ以上のピットを使用することが出来る時には移動または取り外すことが出来るようなものが望ましい。

ボックスはまた、暴風雨に対しても安全が確保されていなければならない。風、雨そして路面の雨水が浸入してくるようなものであってはならない。

電源及びライト

ボックスは、最低50 m²の面積と、最低6個の電源コンセントが設備されていなければならない。その出力は最低16アンペアとし、タイヤウォーマー等現状のニーズに見合った出力のものとする。また、プラクティスまたはレース中にボックス内に行かなくとも良いようにピットボックスのレーンサイドの両脇にもコンセントがあることが望ましい。

全てのガレージは、良質のライト（最低500ルクス）が装備され、ガレージ全体が十分な明るさが確保されなければならない。また、計時及びテレビ画面を受信できること。

水及び排水

各ピットボックスには水道及び排水設備が整っていないなければならない。

エアコンプレッサー

各ピットボックスには、エアコンプレッサーの設備がなければならない。

消化設備

各ピットボックスには消化設備がなければならない。（消火器等）

029.7.5 シグナリング・プラットフォーム

ピットサインを出す為のプラットフォームは、ピットレーンとコース端の縁との間に設置されなければならない。電源コンセントが定められた間隔で設置されていなければならない。(最低 40)

守られなければならない寸法：

- トラック側の縁の幅：2 m
- プラットフォーム幅：1.2m
- 長さ：第1ピット手前から最終ピット後方 25m なければならない
- レーンの路面レベル：ピットレーンより 35cm 高いこと
- トラック側コンクリート防護：プラットフォーム路面からの高さ 1 m
コンクリート壁の厚さ：25cm

プラットフォームとピットレーンの間に 65cm の高さのプロテクションバリアが必要とされる。最大 25m 毎に+/-80cm の開口部が設けられなければならない。

最低幅 2 m の開口部が壁とシグナリング・プラットフォームの下部構造全体に設けられなくてはならない。この開口部はスタート/フィニッシュラインのレベルに設けられなくてはならない。この通路には壁に連結されるスライドドアが装着されていなければならない。

スタートラインの先約 50m 地点に、ハンドレールで囲まれた最低 1 m の高さのプラットフォームが設けられる。このプラットフォームはスターターが全スターティンググリッドを見ることが出来るように設置されなければならない。スターティングライトのコントロールはここで行われる。このプラットフォームに立ち入ることが出来るのはスターター、そして、必要な場合のスターター代理のみである。

029.7.6 ピットレーン出口

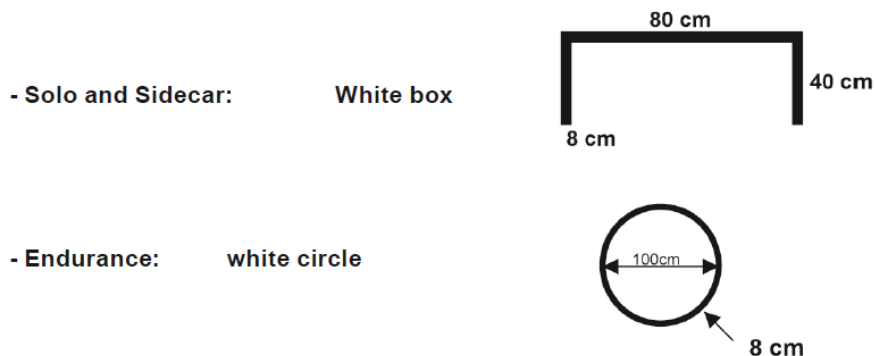
ピットレーン出口は規定のライトによって管理される。(事項 029.6.4 参照)

ライトの 10m 手前にはピットレーンを横切るように白線が引かれなければならない。

60 km に×印をつけたボードが両側の設置され、地面には、ピットレーンを横切るように白線がひかれなければならない。

029.7.7 スタートライングリッド

スタートライングリッドの位置は、承認ペイントによって、以下のとおりにトラック上に記されなければならない。



スタートライトコントロールレバーに接続されたレッドライトがスタートライングリッドの各列に設置されていなければならない。ライトはスタートをコントロールするマーシャルの反対側に設置される。

スタートライングリッドは、以下の方法によって形成される。

- スタートラインに割り当てられる幅が、一列に並ぶライダーの数と 2 番目の列に並ぶライダーの数を考慮してレーンに均等割される。
- 必要とされる最低幅は、
 - ソロマシン：3.00m
 - サイドカー：4.00m

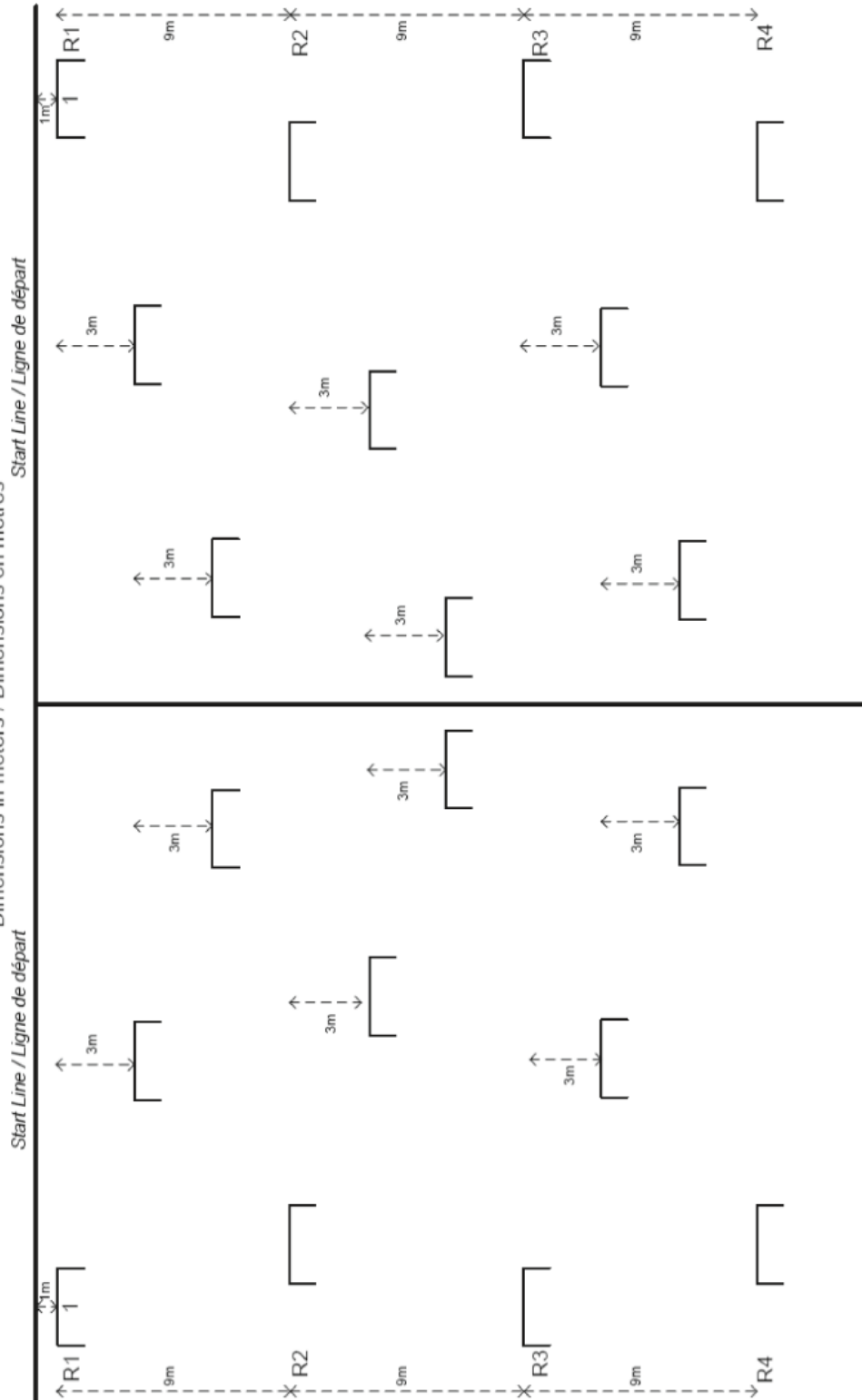
ポールポジション：スタートラインから 1 m 後方とするが、その位置はサーキット査察時に決定される。

- 各列に必要とされるトラックの長さ：9 m
- マシンはグリッド上に交互に並べられ、各マシンに関して直前位置が空いているようにしなければならない。

GRAND PRIX

STARTING GRID / GRILLE DE DEPART

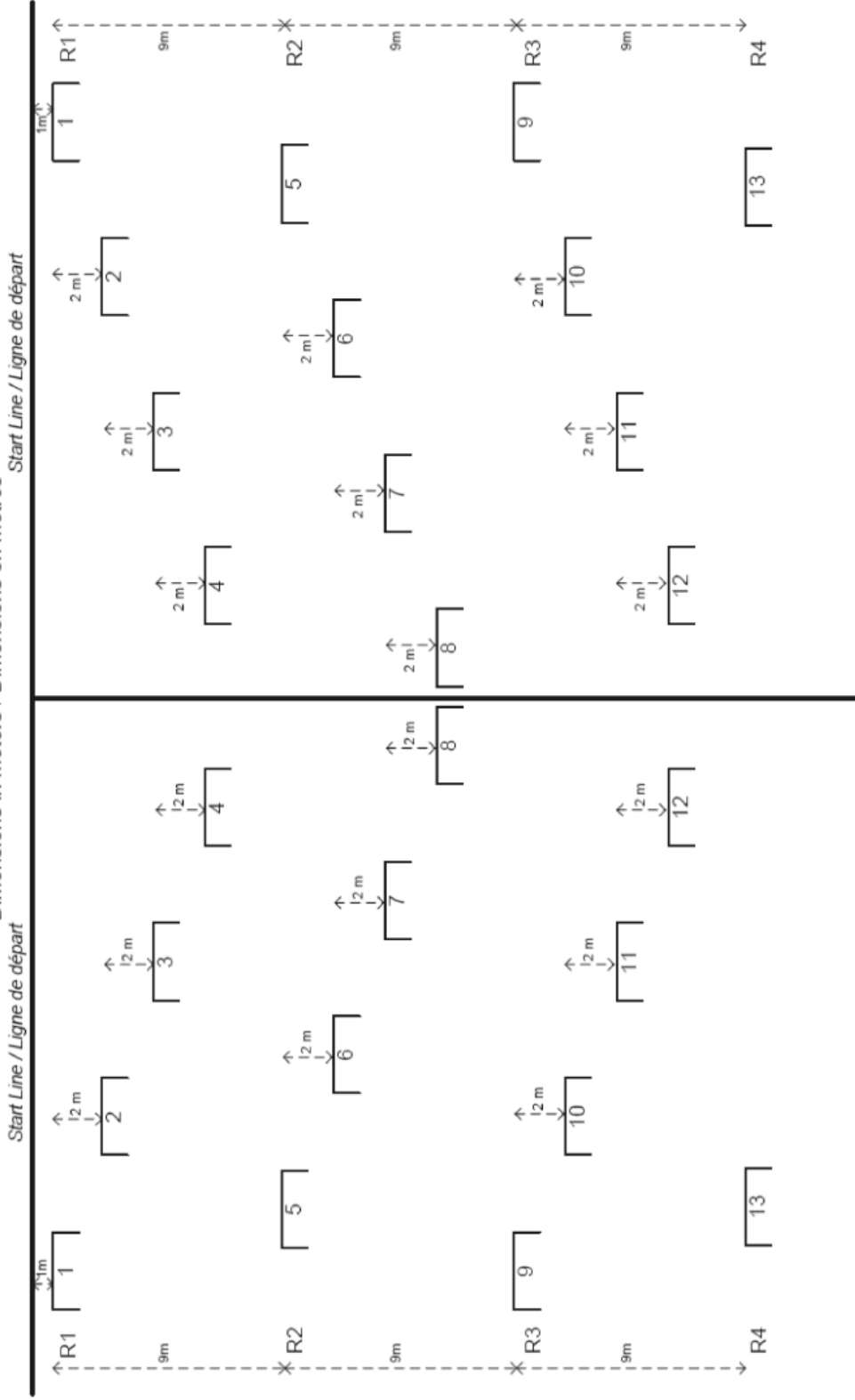
Dimensions in meters / Dimensions en mètres



SOLO

STARTING GRID / GRILLE DE DEPART

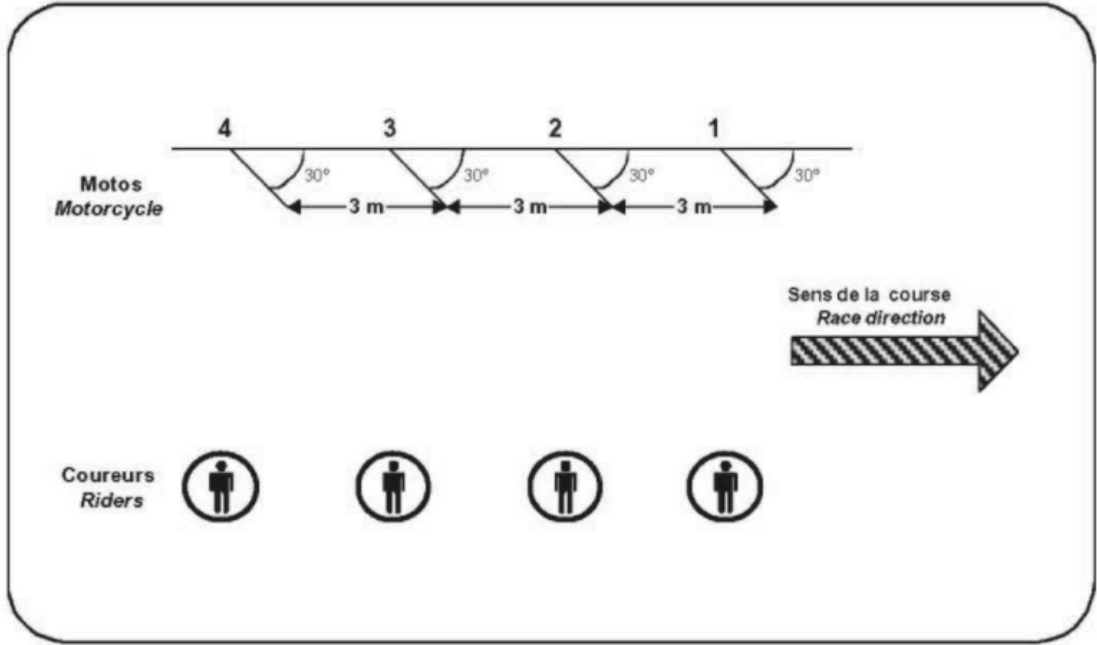
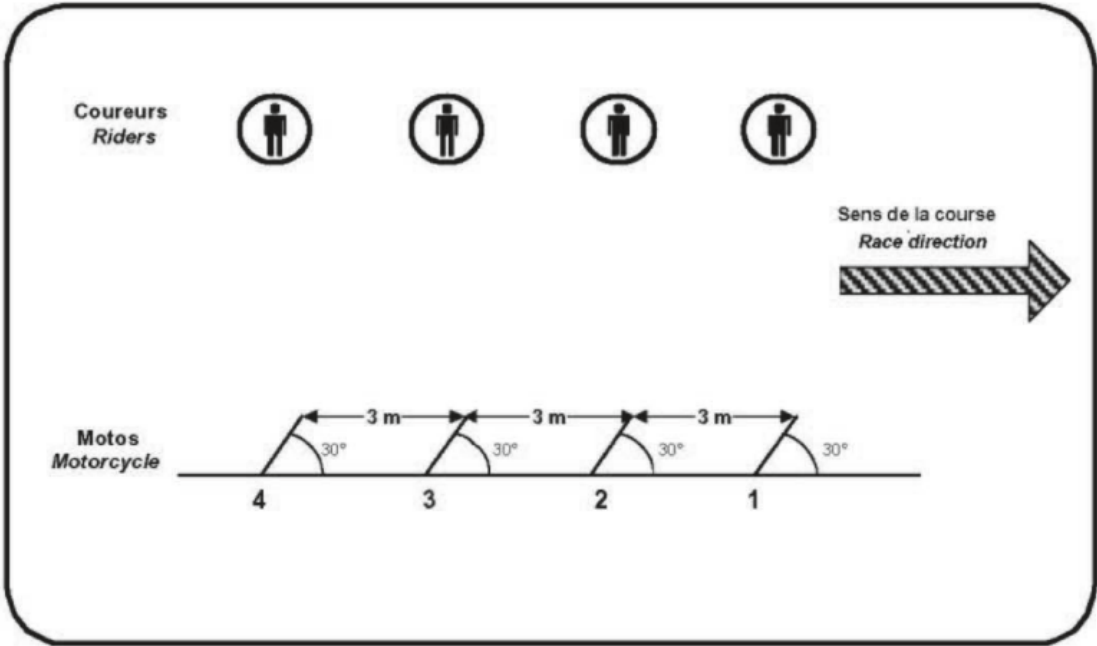
Dimensions in meters / Dimensions en mètres



Pole position on the left side / Pole position à gauche

Pole position on the right side / Pole position à droite

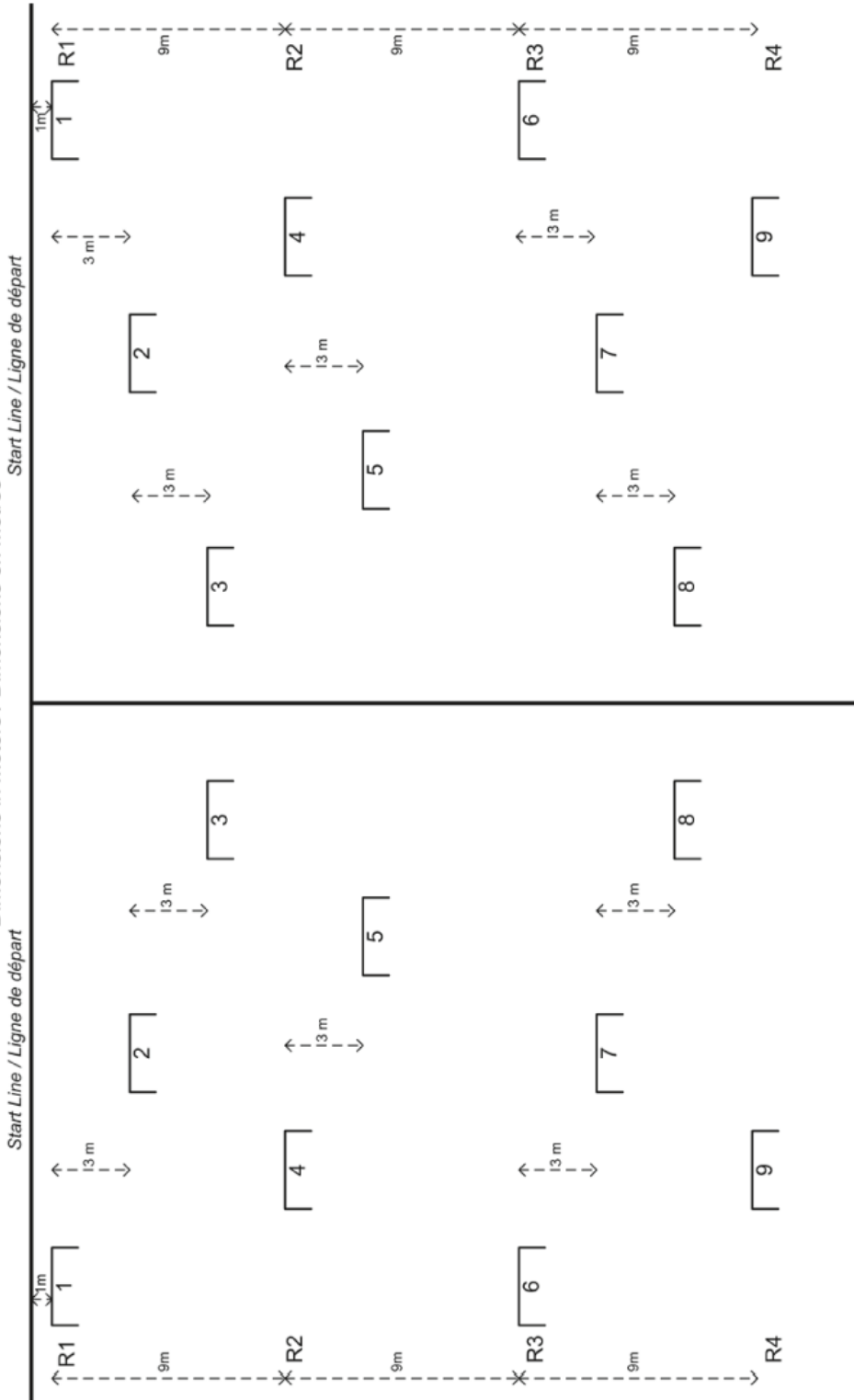
Endurance
Grille de depart /Starting grid



SIDECAR

STARTING GRID / GRILLE DE DEPART

Dimensions in meters / Dimensions en mètres



029.7.8 クローズトパークエリア

この最低面積は 300 m²とし、強いワイヤーネットで囲われ、出入り口は 1 箇所のみとする。

029.7.9 レースコントロールポスト

レースコントロールポストは、監視及びコントロールセンターである。

このポストは、スタートライン付近に設置され、コースあるいはピットレーンに通じる別個の出入り口を有するものとする。

このエリアに出入りできるのは特定の資格ある者のみとする。

コントロールポストには以下の設備がなければならない。

- コース全般、サービスポスト、外部に通じる電話網
- 内部に通じる無線発信・受信網
- TV レシーバー
- 場内 TV (CCTV)
- レッドライトコントロール
- 施設に UPS 電源システムが整備されている場合、システムの作動時に聞き取れる警告システム及びブルーライトが作動している間中点灯していなければならない。
- 適切なヒーター及び冷却設備 (エアコン)

029.7.10 場内テレビ (CCTV: Closed Circuit Television)

この設備は仮設または常設のものとし、以下の指示に従わなければならない。

- 各スクリーンはビデオレコーダーと接続されていなければならない
- 設備は、第 1 回プラクティス以降、イベント中有効なものとする
- カメラは旋回可能なものとし、有効なズームシステム搭載のものとする。設置が暫定的なものの場合、大会のテレビ放送用のものと独立したものでなければならない。(異なるカメラ、異なるカメラクルー、異なるコントロールスクリーン及び異なる録画システム)
- 設置が暫定的なものの場合、トラック全周に配置されているカメラマンにオフィシャルの指示を伝達したり、逆に要望を聞いたりすることに責任を持つクルーコーディネーターが大会期間中、レースコントロールポストに待機していなければならない。
- 全カメラが定点で撮影した場合に、コース全周にわたり、レースコントロールポストのオフィシャルがライダーを見逃すことなく 1 周追える位置に設置されなければならない。

029.7.11 コミュニケーションサービス

以下のコミュニケーション網が完備されていなければならない。

- レースコントロールポスト及びプレスルームから外部へ電話網が通じていなければならない。
- レースコントロールと監視ポスト及びメディカルセンターを結ぶ内部連絡網がなければならない。
- メディカルサービス車両とメディカルセンターを結ぶ内部連絡網がなければならない。
- レースコントロールポストからライダーパドックに向けて制限された放送システムがなければならない。
- 一般観客用放送システムがなければならない。

この拡声器から放送される如何なる案内も幾つかの言語で行われることとする。最低限 FIM 公式言語で行なわれる。

029.7.12 タイムキーピングポスト及びリザルトオフィス

記載されている詳細及び条件は、各選手権プロモーターの要望により異なる。

タイムキーピングポストは可能な限り防音対策が施され、完全な視界状況を確保できなければならない。適切なヒーターまたは冷却システムが完備されていること。

計時装置は各ラップのタイムを 1/100 秒単位まで正確に記録できるものでなければならない。

リザルトオフィスは、各ライダーの各ラップごとのタイムが直ちに計測されるよう準備されていなければならない。

可能であれば、リザルトオフィスはタイムキーピングポストの近くに設置され、タイプライター、コピー機（予備の機器も含む）が完備されていなければならない。

029.7.13 オフィシャルルーム

記載されている詳細及び条件は、各選手権プロモーターの要望により異なる。

これらの部屋はレースコントロールポストに隣接されていなければならない。

大会期間中、ライダーが行きやすいところでなければならない。

以下の設備が完備される。

- 通常のアンテナで受信するホスト局と接続されたテレビスクリーン1台
- タイムキーピングと接続されたモニター1台
- 電話機1台（外部へ通じ、国内及び国際電話をかけられるもの）
- インターネット環境
- テーブルと椅子
- 出席者名の明記されたトレイ
- ソフトドリンクの入った冷蔵庫
- 適切なヒーターまたは冷却システム

029.7.14 メディアセンター

記載されている詳細及び条件は、各選手権プロモーターの要望により異なる。

プレスセンターには、適切なヒーターまたは冷却システムが設置されていなければならない。

029.7.14.1 位置

プレスセンターは、スタートやゴール、ピット作業が良く見えるスタンドの上に設置されることが望ましい。プレスセンターがスタンド上に設置されない場合、パドック内に設置されなければならない。

029.7.14.2 プレスセンターのオープン時間

プレスセンターが開いている時間は以下のとおりとする。

- 木曜日 14時～21時
- 金曜日 8時～22時
- 土曜日 8時～23時
- 日曜日 8時～真夜中

プレスセンターのオープン時間は、各プレスセンター入り口の掲示板に明確に提示しなければならない。

029.7.14.3 プレスオフィサーオフィス

このオフィスには以下の設備がなければならない。

- 引き出しつきの机（鍵が掛かることが望ましい）
- ロッカー付き備品1基
- テーブル2個（合計の全長が最低8mとなり、幅は1mのもの）
- 直通電話1台
- ファックス1台（普通紙、ロール紙または感熱紙は不可）
- タイムキーピングルームからの電話回線1本（2本1組のものを2セット：計

4本)。ケーブルの端は接続されていなければならない。コネクションとともに、ジェネレーターまたはアンプを介する方法は、絶対を取ってはならない。

- フォトコピー1台
- 小型冷蔵庫1台
- 最低1台のテレビモニター（可能であれば4画面）
- コンピューター、無線機用充電器、プリンター2台、冷蔵庫1台、テレビモニターを使用するに十分な電源コンセント

029.7.14.4 インターネットスペース

以下の設備がなければならない。

2本の電話回線（そのうち1回線は当該国にあれば、ISDNタイプ）

両方の回線ともタイムキーピングルームに設置されなければならない。

029.7.14.5 チームインフォメーションスペース

チームインフォメーションのためのスペースは、プレスセンター内に置かれなければならない。（最低10m×1mのテーブルが必要）

このスペースは、明確にチームインフォメーションボードが取り付けられなければならない。

029.7.14.6 受付

プレスセンターのメインエントランス付近で、リザルトトレーに近く、公式掲示板近くに受付が設置されなければならない。

029.7.14.7 ワーキングプレース

- 最低200のワーキングプレースが設けられていなければならない。（机またはテーブル）
- 各ワーキングプレースの最低寸法は、長さ100cm×幅60cmとする。
- 200の椅子。

029.7.14.8 電源

プレスセンターの最低3つのワーキングプレースには1つに複数のアダプターが装備されているものと同等のものが装備されていなければならない。

最も良い方法は、床にコンセントを設置し、テーブル下に吹く数式のアダプターを2m間隔で設置することである。安全上、延長コードは床に這わせてはならない。

ヨーロッパ以外の大会の場合、十分な数のヨーロッパ仕様コンセントが必要とされる。（最低20）

029.7.14.9 TV モニター

各モニターは 5 台で 1 グループとする。

TV スクリーンの最低寸法は 54cm (21 インチ) とする。これ以下の寸法のもの認められない。

全ての TV モニターは、単純にリモコン操作でチャンネルを代えられる位置に設置されなければならない。

TV モニターの数はプレスセンターの大きさによる。モニターは天井から吊るす形で設置されることが望ましい。

タイムキーピングルームと接続されていることが必要とされる。

029.7.14.10 国内 TV との接続

信号を発信する TV センターからプレスセンターへのケーブルの設置が必要とされる。

029.7.14.11 ビデオレコーダー

ビデオレコーダーが必要とされる。

029.7.14.12 フォトコピー機

1 分間に最低 60 枚コピー可能なコピー機が 3 台なければならない。
その内一つには、最低 10 セットのソーターと可能であれば自動ステープル機能を備えたものとする。

コピー機の近くに大き目のテーブルが設置されなければならない。

029.7.14.13 公式連絡／通達ボード

- 1 つの公式連絡ボード (最低 2 m²のもの)
- 1 つの通達ボード (最低 1 m²のもの)

029.7.14.14 リザルトシート用トレイ

公式連絡ボードの近くに各クラスのリザルトを入れるに十分な数のトレイが設置される。

029.7.14.15 電話の設置

- 15本の電話回線（その内5本はドア付きのブース内に設置）
- 電話エリアは、防音設備が整っていることが重要である。
- 最低12台のファックス
- 要求に応じて電話／コンピューター回線のコンバーターが準備されなければならない。
- 全ての回線は高品質の光ファイバーで、モデム経由で伝送できるものでなければならない。
- 伝送費用請求システムが完備される。（受信人により支払われる）

029.7.14.16 ワーキングプレースの外部直通電話

ジャーナリストが要望する場合、外部へかけることのできる直通電話の設置が可能でなければならない。

そのような回線は全てモデムを通して伝送されるものとする。

029.7.14.17 フォトグラファーへのサービス

プレスセンターの近くにフォトグラファー用のエリアが設定されなければならない。但し、同室内であってはならない。

最低40名分のテーブルと椅子が設置されていなければならない。公式連絡ボード及び通達ボードが近くにあり、4台のテレビモニターが設置されなければならない。

029.7.14.18 フォトグラファー用暗室

- 3箇所の暗室が配備される。

それぞれの暗室には下記が備えられていなければならない。

- ・ 大きさは最低6 m²
- ・ ドアが備えられ、鍵が掛かること
- ・ 完全暗所
- ・ 照明はバルブ球のみで、蛍光灯は不可
- ・ 適切な換気
- ・ 水及びお湯の出る水道とシンク
- ・ 最低220Vのコンセント2つ
- ・ 最低1つの作業台（最低1m×50cm）
- ・ 赤灯（警告灯と同等のもの）が暗室の外に設置され、現像過程にある場合、それを示すもの。

3つの暗室が不可能な場合、3名同時に作業できる大きさの暗室を準備しなければならない。

この場合、現像作業中に他の人間が出入りできるように 2 重ドアを設置し、ドア間の通路から暗所となるようにしていなければならない。

029.7.15 テレビコメンテーター用設備

記載されている詳細及び条件は、各選手権プロモーターの要望により異なる。

最低 12 個のブースが準備され、それぞれに

1. スタート／フィニッシュライン地点で直接的かつ広い視界
2. 2 名の人間が入るのに十分な広さの実況ボックス
3. モニター 2 台。1 台はテレビ放送用とし、もう 1 台はトップのライダーから最後のライダーまでのラップ毎の順位を示す。
4. 実況ボックスとプレスルームに最新のプレス情報を同時に中継することのできる設備。
5. リタイヤしたライダーに関する情報をピットレーン、パドックあるいは医務室から直接送る（電話あるいは無線で）ことができること。プレスオフィサーは、レース中このような重大な情報を出来る限り速く中継するものを数人指名する。
6. 適切なヒーターまたは冷却システム
7. ブース毎に最低 2 脚の椅子とテーブル
8. 実況位置毎に 200～220V の電気コンセントを最低 2 つ

029.7.16 広告

全ての広告ボードは、完全に固定されていなければならない。

サーキット内に設置される全ての広告版の位置と特性は、ライダーやオフィシャルの視界を妨げるものであってはならない。また、誤った印象を与えたり、邪魔になる影響を与えたりする恐れのあるものであってはならない。

トラック表面への如何なる広告形態も認められない。（ランオフエリアは例外とする）

アスファルトランオフエリアへのペイント広告は F I M ロードレース委員会の承認を必要とする。（事項 029.6.6）

029.7.17 一般用設備

一般観客用設備は、その国の法律と地元の建築物基準に見合ったものでなければならない。

- 観客席（混雑、出口）
- 駐車場

- 救急サービス
- 公衆トイレ
- 消火設備
- レストラン

観客席から詳細が見えるトラック近くのゾーン

このゾーンは危険と思われる地帯に設定されてはならない。例：カーブ内側

身障者用設備

身障者のため、レースを開催する全会場は、最低限以下に記す設備を設けなければならない。

- 車椅子を使用する障害者が、付き添いの人間と観戦できる指定観戦エリア
- 車椅子を使用する障害者が使用できる指定観戦エリア近くのトイレ
- アスファルトまたはコンクリート上の、適度に指定観戦エリアに近く、車椅子の移動に支障のないスペースを有する駐車場
- 特に障害者のためだけに必要ではないが、常に障害者がいることを考慮し、彼らが行き易い場所にある医療施設
- 上記医療施設へ行くための車椅子の移動がし易い舗装された通路

029.7.18 サーキット維持管理

正しくサーキットを維持することにより安全の基礎となり、公認ライセンスの維持に繋がる。

下記に関して定期的なチェックが必要とされる。

- トラックの清潔さ及び路面状況
- 全ての縁はコースの端と同じ高さになくなくてはならず、縁石後方の全てのエリアは埋められ、一定の高さに保たれていなければならない。草は短く刈られ、乾いた草は取り除かれなくてはならない。雑草は取り除かれなければならない。特にランオフエリア、ガードレール及び壁の前、グラベルベッド内の雑草は取り除かれなければならない。
- ガードレールのボルトの増し締め
- ダメージを受けた防護デバイスの修理
- 縁石または代わりに置かれているものの補修または交換
- 排水溝の調査及び清掃
- サービスロードを良い状態に保つ
- コースとピットロードの境界線のペイント
- 木または他の植物を切断することによって視界の確保
- 電話及びテレビ配線の管理
- サーキット基幹施設に属する建物の維持管理

大会期間中、事故直後に防護物を素早く修理できるように全ての必要な材料を積載した緊急介入車両が準備されていなければならない。

029.7.19 表彰台

表彰台は、表彰式の際によく見える位置に設置され、大勢のフォトグラファーが効率よく作業できるように表彰台から離れた位置に設定される保護ラインによって保護されていなければならない。

029.8 マーシャルポスト

029.8.1 数と位置

マーシャルポストの数と位置はサーキット査察時に査察官によって決定される。

査察報告書に、ポストの位置、各ポストへの配置人員が明記された 2 種類のサーキット図（1つはフラッグマーシャル用で、もう1つはトラックマーシャル用）が添付される。

029.8.2 安全策

このトラックに隣接したポストは、シンプルなデザインで、トラック上の車両から守ることのできる十分に安定場所に設置されなければならない。また、オフィシャル及び装備品を悪天候から守るものでなければならない。

029.8.3 フラッグマーシャルポストの装備

各ポストはトラックから明確に視認できるようにサインボードで表示されていなければならない。このボードの大きさは横 40cm×縦 30cm で黄色地に黒数字のボードが勧められる。ここに書かれるサインは“F”とそのコーナー番号とする。

各ポストには以下の装備がなければならない。

1. 通常装備

- レースコントロールポストとの無線または電話網
- 公式フラッグのセット

全てのフラッグは下記寸法とする。

100cm(横)×80cm (縦)

下記 () 内のフラッグ色の見本となるパントーンカラーが重視される。

- ・ グリーン 1 本 (3 4 8 C)
- ・ 縦の赤ストライプの付いた黄旗 1 本 (黄色 : C、赤 : 1 8 6 C)
- ・ ブルー 1 本 (2 8 6 C または 2 9 8 C)
- ・ 白旗 1 本
- ・ 黄旗 1 本 (C)
- ・ 赤旗 1 本 (1 8 6 C)

- ・ 黒旗 1 本 (black C)
 - ・ オレンジディスクつき黒旗 1 本 ((40cm) (黒 : C、オレンジ : 1 5 1 C))
 - ・ 赤い (186c) 斜め十字 (最低幅 4cm) 付き白旗
- ゼッケンナンバーを表示できる横 70cm×縦 50cm のブラックボード 1 枚と最低幅 4cm で高さ 30cm の白数字セット

2. 耐久用追加の装備

- 1 本のホワイトクロスのある赤旗 (赤 : 1 8 6 C) そのストライプの幅は最低 4cm とする。
- 黄色地に黒字で”PUSH”と書かれた 1 枚の黄色ボード (黒 : C、黄色 C) 一部夜間のレースがある場合、このボードは逆反射式でなければならない。

3. 一部夜間にレースが行われる場合の追加装備

- 黄色点滅灯 (029.6.5)
- 公式逆反射式ボード
全てのボードは、以下の寸法いじょうでなければならない。
100cm (横) ×80cm (縦)

下記 () 内のフラッグ色の見本となるパントーンカラーが重視される。

- ・ グリーン 1 本 (3 4 8 C)
- ・ 縦の赤ストライプの付いた黄旗 1 本 (黄色 : C、赤 : 1 8 6 C)
- ・ 白旗 1 本
- ・ 赤旗 1 本 (1 8 6 C)
- ・ 1 本のレッドクロス旗 (赤 : 1 8 6 C) そのストライプの幅は最低 4cm とする。
- ・ 1 本のホワイトクロスのある赤旗 (赤 : 1 8 6 C) そのストライプの幅は最低 4cm とする。

029.8.4 フラッグマーシャルのプレゼンテーション

第 1 回プラクティスセッションまたはウォームアップ前の、各日のインスペクションラップの際、フラッグマーシャルは配置されたポスト前に立ち、黄旗を振動提示していなければならない。

FIM セーフティオフィサー (モト GP 及びスーパーバイク大会) または審査委員長 (その他世界選手権またはプライズイベント) は、その他追加装備の提示も要求することができる。

029.8.5 フラッグマーシャルの位置

トラック上に車両がある場合いつでも、フラッグマーシャルは自分の持ち場から離れることは認められない。

029.8.6 トラックマーシャルポストの装備

各ポストはトラックから明確に視認できるようにサインボードで表示されていなければならない。このボードの大きさは横 40cm×縦 30cm で黄色地に黒数字のボードが勧められる。ここに書かれるサインは“T”とそのコーナー番号とする。

各ポストには以下の装備がなければならない。

- レースコントロールポストとの無線または電話網
- 2本のほうきとシャベル
- 炭酸カルシウム 15リットル入り 1個と 4リットル入り 2個またはオイル処理を行うことの出来るその他の物
- 消火設備
 - ・ 6Kgの消火器 2個
 - ・ 1リットルの AFFF フォームスプレー式消火器 1個が推奨される。
- モーターサイクル移動用ストラップ
- 最低 2 個のタイプ C 防護デバイス（事項 029.5.1 参照）

029.8.7 トラックマーシャルのプレゼンテーション

第 1 回プラクティスセッションまたはウォームアップ前の、各日のインスペクションラップの際、フラッグマーシャルは配置されたポスト前に立ち、黄旗を振動提示していなければならない。

初日においては、タイプ C プロテクティブデバイス 2 ユニットが、各ポストのトラックエッジ上に提示されていなければならない。インスペクション終了後に 1 時プロテクション後に移動される。

029.8.8 マーシャルのユニフォーム

マーシャルのユニフォームは白またはオレンジ（パントーン：151C）で、雨具は透明のものが強く推奨される。

029.9 緊急装備

029.9.1 メディカルセンター

仮設または常設の設備で、重傷または軽傷を負った負傷ライダーを手当てするために十分なスペースがなければならない。

サーキットの外にある病院が大会時のメディカルセンターとされることはできない。

1. メディカルセンターには以下がなければならない。

- プレス及び観客から隔離される安全な環境
 - 救急車両が出入り、駐車し易く、可能であれば負傷者を下ろす場所が覆われていることが望ましい。
 - ヘリコプターの着陸場所が近くにある。
 - 最低、同時に 2 名の重大負傷ライダーを蘇生作業することができる 1 つまたは 2 つの大きさの部屋がある。(蘇生エリア)
 - レントゲン室
 - 1 名以上の負傷ライダーを同時に処置するのに十分な広さの部屋。この部屋にはパーテーションがあることが望ましい。例：カーテンまたはスクリーン
 - 受付及び待合室
 - アンチドーピングコントロールを行う設備
- コントロールセンターは、1 つの部屋と待合室とで構成されなければならない。ワーキングルームには、テーブルと椅子、洗面台、サンプルコンテナ、筆記用具、隣接する部屋にトイレ、衛生用品。更に、サンプルを保存しておくことができる鍵付きの冷蔵庫がこの部屋または安全な部屋に設置されていること。待合室には、椅子、ハンガー及びフック、開けられていない容器に保管されている適切な飲料及び雑誌
- ドクタールーム
 - 障害者が出入りできるシャワー及びトイレ
 - メディカルスタッフルーム
 - レースコントロール、CMO、救急車、グランドポスト及び指定病院との連絡
 - メディカルセンターが、通常の電気供給量しかない場合、常に独自の無停電電源装置 (UPS) と接続されていなければならない。
 - 水道設備、ヒーター、エアコンディショナー及びその国に適した衛生設備
 - サーキット内テレビシステムと接続されているモニター
 - 事務用品
 - ユーティリティールーム (汚れ物)
 - 装備保管室
 - セキュリティーフェンス
 - 電話
 - ガードマン
 - 救急車駐車場

2. 部屋の最低寸法及び必需品

- 蘇生室 1 部屋の場合 5 m × 4 m
- 蘇生室 2 部屋の場合 3 m × 4 m
- 一般の入り口と異なる別の出入り口
- 軽傷治療室 5 m × 4 m
- レントゲン室 3 m × 4 m

— アンチドーピングコントロール室	7 m × 4 m
— メディカルスタッフルーム	6 m × 4 m
— センター内通路 (CAT 1)	2.5m
(担架に乗せられた患者が移動する)	
— その他通路 (CAT II)	1 m
— ドアの幅 (CAT 1) : 担架が通過できる	2 m
— ドアの幅 (CAT II) :	1.2m

029.9.2 ドーピングテスト設備

ドーピングテストの設備は必要であり、オーガナイザーによって手配される。

それは

- ・最低下記を含む 1 部屋
 - ・テーブルと椅子
 - ・洗面台
 - ・サンプルコンテナ (通常はドーピングコントロールオフィサーによって準備される)
 - ・筆記用具
 - ・近接の部屋にあるトイレ及び衛生用品
 - ・この部屋または近接した安全な部屋にサンプルを保管するための小型冷蔵庫
- ・待合室
 - ・椅子
 - ・ハンガーとフック
 - ・適切な飲料供給とし、密封された未開封のものと可能であれば雑誌

ドーピングコントロールセンターへの出入りは、通常下記の人間に制限される。

- ライダーと指定された同伴者
- ドーピングコントロールオフィサー
- シャペロン
- 通訳
- F I M が特に任命した者

029.9.3 消火サービス

ライダーパドック (事項 029.7.1)、ピット (事項 029.7.4)、コース周囲 (事項 029.7.4) には消火設備がなければならない。

029.10 許可される車両の数

マシンの最大数は、サーキットインスペクターによって指示される。

029.11 査察と公認手順

029.11.1 査察

査察とは CCR 代表が訪れ、

- SRRC に準拠し、サーキットの恒久的安全レベルを確立し、査察の見地から必要とされる要求を行う。
- また、全ての恒久的条件、大会を開催するのに必要とされる安全指導要綱に則った暫定的安全設備及びサービスを検証する。
- また、公認ライセンスを与える。

必要に応じて、国際メディカルパネルのメンバーによりメディカル設備についての査察が行われる。

029.11.2 査察及び公認のための絶対条件

FIM 選手権は、各選手権規則に明記されているとおり、FIM によって公認されたサーキットにおいて開催されなければならない。

査察は以下の場合について義務とされる。

- a) 選手権大会に使用される新サーキット
- b) 同一の選手権を前年に開催しなかった既存のサーキット
- c) 選手権大会を開催している既存のサーキットで、コースまたは安全設備に関する変更が行われた場合
- d) 公認ライセンスが取り消された既存のサーキット
- e) 前回の公認期間が満了した既存のサーキット
- f) トラックによるレースが開催されたサーキット

029.11.3 査察要請

- 全ての査察の要請は当該国協会から提出されなければならない。
- CCR が査察官を任命する。
- 査察は可能な限り早い時期に行われる

行われる作業の重要性に基づき、査察官は査察回数が 1 回またはそれ以上必要かどうか決断する。

- 公認は、最終査察終了後発効となる。

029.11.4 査察要請の際に提出される書類

査察要請を行う際には、サーキット並びに付帯設備の完全なファイルが含まれていなければならない。これにより任命された査察官が現地を訪れる前に詳細を検討することが出来る。

サーキットファイルには以下が含まれていなければならない。

1. トラック図：最低縮尺 1/2000 のもの。これには、位置、レースコントロールポスト、ビル、基礎構造、連絡通路、ピット、パドック、スタートライン位置、救急車両、メディカルセンター、ヘリポート、消防車両及びトラックマーシャルポストが含まれていなければならない。
2. ピット、メディカルセンター、パドックエリアの図面は、最低縮尺 1/500 とする。
3. 全建築物の詳細図面は、最低縮尺 1/200 とする。
4. トラックアクスルの縦断図は、最低縮尺 1/2000（全長）、1/200（高度）とする。
5. トラック横断面及び側面図は（最低限第 2 防護ラインまで）をスタートラインのレベル及び最も重要とされるコーナーの中心において、最低縮尺 1/200 とする。
6. 追加の情報
 - 内部及び外部コミュニケーションシステム
 - 病院の位置、距離及び専門分野
 - メディカルサービスについての記載。装備、人員等
 - 消火サービスについての記載。装備等

029.11.5 査察経費

FIM によって規定された支払方法によって当該国協会が費用を負担する。

029.11.6 査察手順

査察中、サーキット経営者は、査察官が任務を遂行中に本来その場にはならない人間が立会い、査察の妨げとならないようにしなければならない。

査察中は、トラックまたはその周辺の工事中という避けられない場合を除き、トラック上に如何なる車両も出入りしてはならない。

029.11.7 査察報告書

最終査察時に報告書が作成される。それには FIM イベントを開催する上で必要とされる必要改修箇所、安全対策等が明記される。

査察報告書は世界選手権及びプライズに関してのみ有効とする。

029.11.8 査察報告に対する反論

査察官の了承を得た上で、査察報告書は当該サーキットの所属する国の協会に FIM 執行事務局より送付され、当該国協会は報告書に対する意見をを行う期間として最大 3 週間が与えられる。如何なる意見もない場合、当該報告書は正式なものとなされる。

しかし、この 3 週間という期限を過ぎても査察官と当該国協会の意見の相違がある場合、CCR 委員長がその件に関して検討し、最終的に纏める。

029.11.9 査察報告の改訂

FIM イベント開催前の場合、査察報告の如何なる改訂要求も FIM サーキットインスペクターの承認が必要とされる。

FIM イベント開催中の場合、査察報告の如何なる改訂要求は、セーフティーオフィサー（モト GP、スーパーバイク）または競技監督と協議の上で審査委員長（その他世界選手権およびプライズイベント）の承認が必要とされる。

29.11.10 サーキットのホモロゲーション（公認）ライセンス

公認されたサーキットは、FIM サーキットライセンスを受け取る。公認期間は、インスペクターによって決定され、最終査察報告書及びライセンス上に記載される。どのような場合でも 2 年を超えた公認はない。

大会運営以前にホモロゲーションライセンスを受けることは必要条件である。

ホモロゲーションライセンスは、FIM 世界選手権及びプライズにのみ有効である。

施設内の恒久的安全設備の維持はサーキット管理者の責務である。

029.11.11 サーキットライセンスのグレード

グレード	グランプリ	スーパーバイク スーパースポーツ	耐久	E パワー	サイドカー
A	○	○	○	○	○
B		○	○	○	○
C			○	○	○
D				○	○
E					○

サーキットグレード以外に +N が追記されている場合、ライト類の装備されていないバイクによる夜間レースも承認された事を示す。小さな t が追加されているは、そのサーキットはテストのみであることを示す。

サーキットのグレードは、サーキットライセンスに明記される。

029.11.12 公認ライセンスの停止

FIM サーキット査察官は、以下の場合に、公認ライセンスの停止を停止することができる。

- 恒久的安全設備改善要求
- 恒久的安全設備の悪化
- 路面の悪化
- 追加の防護デバイス不足または不適切化
- サーキット基礎構造の悪化
- サーキット維持管理の不適切化

Annexe A / Appendix A

**COORDONNEES DES CONSTRUCTEURS &
DISTRIBUTEURS DES OUVRAGES DE PROTECTION ACCESSOIRES /
CO-ORDINATES OF MANUFACTURERS &
DISTRIBUTORS OF ADDITIONAL PROTECTIVE DEVICES:**

Airfence I, I S, IIS, Bike, Bike B & Bike Evo

AIRFENCE SAFETY SYSTEMS Pty Ltd. (Australia)
P.o. box 7161 West Geelong. Victoria 3218 Australia
TEL: +61 3.5229 1311 FAX: +61 3.5229 2544 airfence@airfence.com

Alpina Air-Module, Air-Module AA, Defender, Super Defender, Super Defender 2 & Synthetic Bales

ALPINA SAFETY SYSTEMS GMBH
Lindenstrasse 4
A - 9552 STEINDORF
TEL: +43 4243 2480 0 FAX: +43 4243 2480 5 office@alpina.at

Bridgestone Module 1000 & Module 1300

BRIDGESTONE CORPORATION
1, Kashio-cho, Totsuka-Ku,
J - YOKOHAMA
TEL: +81 45 825 7641 FAX: +81 45 825 7643 hayas5-m@bridgestone.co.jp

Filling Italiano Protection System (ONDA 27/33-20/26)

FILLING ITALIANA
Via Mameli 51
I - 20058 VILLASANTA (MI)
TEL: +39 039 20 50 999 FAX: +39 039 20 50 977

PKS Modele 1 & Modele 5

PKS PROMOTER SERVICE
Via Michele Angileri 162
I - 91020 PETROSINO (TP)
TEL/FAX: +39-0923-986166 pk@ctomline.it

Recticel Safeguard Barrier 1, 2, 3, 4 & RR

Recticel pendle
Unit 6 Dale Mill, Hallam Road, Nelson
UK – LANCASHIRE BB9 8DQ
TEL: +44 1282 697 528 FAX: +44 1282 694.766
www.safeguardbarriers.co.uk safeguardbarriers@recticel.com

SPM AirPADS & Energy Absorber Type A

SPM SpA

Via Provinciale, 26

I – 1030 BRISSAGO

TEL: +39 0332 575 191 FAX: ++39 0332 576 579

www.spmspa.it. info@spmspa.it

Tecpro Barriers

40, Avenue de Lascours

13400 Aubagne – France

TEL: +33 442 030 691 FAX: +33 442 032 884 rafael@tecpro.fr

Trackcare Barrier, Inflatable Barrier & Hi-Lite

TRACKCARE MARKETING AND MAINTENANCE :

2 Caseldona Rise

N.Ireland – BELFAST BT6 9RA

TEL: +44 1232 791 665 FAX: +44 1232 791 665 info@trackcare.com

Annexe A / Appendix A

**Coordonnées des fabricants de peintures approuvées :
Co-ordinates of manufacturers of approved paints:**

LIMBURGER LACKFABRIK GmbH : LIMBOROUTE CIRCUITLINE WBP

LIMBURGER LACKFABRIK GmbH

(Heidi EHLERT)

Robert - Bosch - Straße 17

D - 65582 Diez

Tel.: +49 (0) 6432 / 918422

Fax.: +49 (0) 6432 / 918418

SAR SIGNATURE EXPORT : AGRIPP' TROPHY

SIGNATURE EXPORT - SOCIETE D'APPLICATIONS ROUTIERES

(Mireille YOUMBI)

63, rue Edouard Colonne

92027 Nanterre cedex 6100

FRANCE

Tel. (+33.1) 40 87 43 08

Fax (+33.1) 40 87 30 43

myoumbi@ciesignature.com

VERNICE AUTODROMO : SAMOLINE 8550.050

COLORIFICIO SAMMARINESE SA

(Matthew VAGNINI)

Via del Camerario 7

RSM-47891 Falciano

REPUBBLICA DI SAN MARINO

Tel. (+378) 05 499 05 515

Fax. (+378) 05 499 08 453

export@colsam.com